

# 一 般 質 問

令和8年第2回（6月）定例会

通告順	議席番号	議員名	ページ
1	10番	細谷文人	2
2	14番	山中敏正	3
3	19番	渡邊光子	5
4	4番	砂川和也	7
5	18番	江森誠一	9
6	9番	近本あんな	10
7	2番	渡邊広美	11
8	1番	仲又清美	13
9	13番	浦田充	16
10	11番	糸井政樹	18
11	7番	榊萌美	20
12	5番	北村あやこ	22
13	3番	渡辺まや	24

質問方法は全議員とも複合式

- ※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。  
(質問回数制限なし)

## 10番 細谷 文人

1. 駅東側の期日前投票所の設置を早期に
  - (1) 直近の市議選・市長選・県議選・衆議院選・参議院選の、日別・時間別の投票者数の推移は。
  - (2) 期日前投票所の準備から撤収に必要な延べ人数は。
  - (3) 期日前投票所設置にかかる費用はどのくらいか。
  - (4) 駅東側の期日前投票所の設置計画の進捗状況はどうなっているか。
  - (5) 駅東側の期日前投票所の設置にどのような課題があるか。
  - (6) 高崎市や金沢市など一部の都市部に導入されている、移動式期日前投票所を開設する可能性はあるか。
  
2. スクラップヤードの安心安全は守られているか
  - (1) 市内のスクラップヤードの数を把握しているか。その数は。
  - (2) 市内に「特定再生資源」を保管しているスクラップヤードはあるか。「金属」「プラスチック」「雑品スクラップ」別に分類した場合のヤード数は。
  - (3) 保管している品目が不明とされているスクラップヤードはあるか。あれば、その数は。
  - (4) 苦情はあるか。あれば件数及び具体的な内容。
  - (5) 「埼玉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」が去年施行されたが、本市における許可申請の件数は何件あったか。また、許可申請への本市の対応はどうなっているか。
  - (6) 「廃棄物処理法改正案」に向けて、本市の今後の対応はどうなっていくか。
  
3. 桶川駅西口のペDESTリアンデッキの耐震対策はどうなっているか
  - (1) 1日平均の利用者数は何人か。
  - (2) 耐震診断は今まで実施したか。それはいつか。
  - (3) 建設当時の耐震基準を満たしていることを示す資料はあるか。あれば、どこで確認できるか。
  - (4) 今後、耐震の方向性はあるか。

## 14番 山中 敏正

### 1. 2040年問題を見据えた持続可能な自治体運営について

#### (1) 本市における人口動態の認識と将来推計について

- ① 過去の人口動態について、伺います。(資料にて説明願います)
- ② 人口推計、高齢化率、生産年齢人口の推計値について、伺います。(現在と比較した資料にて説明願います)
- ③ 自然動態と社会動態を通じた人口の増減と構造変化について、伺います。(現在と比較した資料にて説明願います)

#### (2) 地域コミュニティと福祉の維持について

- ① 独居高齢者の急増に伴う、地域での見守り体制(共助)について、伺います。
- ② 医療と介護への影響について、伺います。
- ③ 移動困難者対策として、デマンド交通の導入検討状況について、伺います。

#### (3) 持続可能な財政運営と行政サービスについて

- ① 市税収入と社会保障費の推計値について、伺います。(現在と比較した資料にて説明願います)
- ② 財政の健全化に向けた長期的な見通しと取組について、伺います。
- ③ 施設の長寿命化について、具体的な優先順位の考えを、伺います。
- ④ 職員の確保を戦略的に進める必要があると考えますが、取組の方向性について、伺います。
- ⑤ DXによる業務効率化に加え、業務自体の見直しも必要になると思いますが、考えを伺います。

#### (4) 2040年を見据えた選ばれるまちへの戦略について

- ① 目指す方向性について、伺います。
- ② 桶川市の強みをどう創出していくのか、伺います。
- ③ 誰にどんな価値で選ばれたいのか、伺います。

### 2. 道の駅「べに花の郷おけがわ」の防災拠点としての役割について

#### (1) 道の駅「べに花の郷おけがわ」の防災機能について

- ① 防災道の駅としての役割について、伺います。
- ② 防災機能の具体的な内容について、伺います。
- ③ 防災連携体制について、伺います。

(2) 災害時における基盤インフラとの関係について

- ① 国道17号における緊急輸送道路としての指定状況と道の駅とのアクセスについて、伺います。
- ② 圏央道における広域搬送や物資輸送ルートとしての役割について、伺います。
- ③ 桶川北本IC周辺の土地利用と防災配慮について、伺います。

3. 本田航空との広域防災・緊急医療連携の強化について

(1) 国・県・市と本田航空の具体的な関係について

- ① 国の広域防災計画の中で民間航空会社の位置づけについて、伺います。
- ② 埼玉県と本田航空との協定内容について、伺います。
- ③ 市との連携の現状について、伺います。

(2) 本田航空との緊急医療連携について

- ① 想定する医療機関と搬送の流れについて、伺います。
- ② 医療機関との連携・消防・救急と航空搬送の役割について、伺います。

(3) 国・県・市における防災連携のポイントについて

- ① 広域連携の中で国・県・市が果たす役割について、伺います。
- ② 今後強化すべき連携について、伺います。

## 19番 渡邊 光子

### 1. 入学準備金貸付について

(1) 貸付と返済状況を伺います。(書面請求)

返済遅延金について保証人・連帯保証人に請求した事例を伺います。

### 2. 不登校児童について

桶川市の不登校児童への対策は十分か伺います。

### 3. 固定資産税・都市計画税と市県民税の銀行口座一括引き落としについて

固定資産税・都市計画税と市県民税は、1年分が数期に分割された納付書が届き、口座引き落としも、その数回の分割により口座引き落としが可能でした。そこで伺います。

(1) この令和8年度からは分割によらない口座一括引き落としが可能になりましたが、各市民の手元にはどのような形で銀行口座一括引き落としが周知され、可能になるのか伺います。

(2) 口座引き落としを途中でやめる時、どのような手続きをしたらよいか伺います。

(3) 銀行口座一括引き落としにより、桶川市の予算組みにどのような利点効果があるのか伺います。

### 4. 物価高騰による国の支援策である「くらし応援商品券」について

市民に商品券を送付する前に、「商品券受取辞退申請ハガキ」が届きました。そこで伺います。

(1) 対象者全員に送付されたと思うが、費用対効果について伺います。

### 5. 道の駅の農産物販売について

4月15日に道の駅に行き、野菜を買って帰ろうと店外の売店を見ました。野菜は朝取った新鮮な野菜を期待しましたが、大根半分の切口は黒くなっており、半額にはなっていたが買う気にはなりません。地方の道の駅ではこのような野菜は見たことがありません。スーパーで大根半分を買い、切口が黒くなる日数を見ました。1週間経過しても桶川市道の駅で買った大根の切口のように黒くはなりません。道の駅の野菜といえばその日の朝取り野菜が店頭には並ぶのは皆知るところです。そこで伺います。

- (1) なぜこのようなことが起きているのか伺います。
- (2) 朝取り野菜の販売に移行するのはいつからか伺います。

6. 職員の視察時の費用等について

- (1) 昨年度までの特別職、職員の視察時等の各費用を伺います。
- (2) 令和8年度からの特別職の視察時等の旅費と職員の旅費が同じになるのはどのような時が考えられるのか伺います。
- (3) また、職員が特別職と一緒に視察の時でも、職員、特別職それぞれの旅費が違うのはどのような時が想定されるのか伺います。

7. 下日出谷のグリーンガーデンの公園等について（3月議会に続く）

公園は危険を予知して安心安全に整備しなければいけません。そこで伺います。

- (1) グリーンガーデン北東の傾斜地のゆきやなぎは、また伸びてきています。撤去はいつから始めるのか伺います。
- (2) 児童の遊具がある東側の三角地はまた草丈が伸びてきています。3月議会で意見を言ったが、自転車置き場の整備はどうなったのか伺います。

8. 泉2丁目364-9川田谷泉線の残地の公売について

令和8年5月13日に、ばらを撤去して更地にしました。民間へ払い下げの段取りはどのようになっているのか伺います。

9. べにばな陸橋南側下の高木を囲む六角形の椅子について

改修を伝えていますが、一部の改修、それとも全部の改修はいつ頃になるのか伺います。

10. 道路河川課へ連絡のU字溝と公道のへこみについて

地域の方の連絡によりますが、市道1号線の三共理化学株式会社の正門前、泉2丁目住宅側のU字溝が住宅側にへこみ、それに続いて住宅地側の公道にもへこみができています。ちょうど下水管の上であり、老朽化による公道の陥没を心配します。改修の今後の予定を伺います。

## 4番 砂川 和也

### 1. 緑のあるまちづくりについて

#### (1) 温暖化対策と計画の実効性について

- ① 「第二次桶川緑のまちづくり基本計画」と第一次同計画の成果と新たな目標設定について伺います。
- ② 「桶川緑のまちづくり基本計画」を20年の計画とした理由と定期的な振り返りの考えについて伺います。
- ③ 本計画における環境保全機能の見える化に向け、温室効果ガス削減目標の具体的数値と、その達成に向けた優先施策をどのように設定していますか。

#### (2) 倒木リスクと樹木管理について

- ① 街路樹・公園樹木の倒木リスク箇所の把握状況、危険木の優先順位付けはどのように行っているのか伺います。
- ② 街路樹・公園樹木の管理基準を、気候変動の影響を踏まえて見直す考えはありますか。

#### (3) クビアカツヤカミキリ被害について

- ① 市内で確認されているクビアカ被害の現状と、被害拡大の要因分析を伺います。
- ② 温暖化によるクビアカの活動期間の拡大を踏まえ、監視体制をどのように強化する考えか伺います。

#### (4) 緑化推進について

- ① 減少傾向にある緑地は多くの機能と役割があるが、緑のまちづくりを進めるために具体的にどのようなビジョンで緑化の保全整備を進めていきますか。
- ② 保育、学校、公園、公共施設等での植樹や芝生化など緑地整備を拡大する方針はあるか伺います。
- ③ 先行する駅東口周辺整備において、桶川の玄関口としてどのような緑化方針を位置づけているのか伺います。

### 2. 公園と緑を活用したまちづくり拠点について

#### (1) 遊具の老朽化と緑を活用した公園整備について

- ① 城山公園を含む市内公園の遊具の老朽化状況をどのように把握していますか。
- ② 子どもたちが求める遊具のニーズ調査を行う考えはありますか。

- ③ 遊具の安全性と魅力向上を両立させる公園整備の考えを伺います。
- (2) 道の駅と城山公園の連携強化について
  - ① 道の駅の開業により、城山公園の役割をどのように再評価していますか。
  - ② 道の駅を訪れた家族連れなどが自然に城山公園へ回遊できるよう、公園機能を強化する考えはありますか。
- (3) 緑の基本計画と公園整備との整合性について
  - ① ニーズや木製遊具などを利用した再整備を、緑の基本計画が掲げる「みどりの拠点の充実」の一環として位置付ける考えはありますか。

### 3. 負の遺産にしない環境センター所在地の利活用について

- (1) 早期計画の必要性について
  - ① 環境センター所在地について、先進事例等をもとに「公園・広場・多目的スペース」としての利活用を検討する考えはありますか。
  - ② 廃焼却炉の解体に関する交付金制度、施設跡地利用要件の撤廃要件について制度内容をどのように認識しているか伺います。
  - ③ 環境センター所在地を「公園・広場・多目的スペース」として緑化推進した場合の効果について見解を伺います。
  - ④ 物価上昇リスクを踏まえ、負の遺産にならないよう新設計画と平行して早期の計画策定・早期の事業着手を行うべきと考えるが見解を伺います。

## 18番 江森 誠一

### 1. 子どもの学び方改革と探究学習について

#### (1) ラーケーション制度について

- ① ラーケーション制度について教育委員会の認識を伺う。
- ② ラーケーション制度のメリット及び課題について伺う。
- ③ ラーケーション制度導入について桶川市の考え方を伺う。

### 2. 生活道路の交通安全対策について

#### (1) 自転車の交通安全対策について

- ① 本年4月より自転車への交通反則通告制度（青切符）が導入された。上尾警察署管内における4月、5月の2か月間で自転車の違反件数と違反行為について伺う。
- ② 桶川市において自転車の交通事故抑止を図る対策は行っているのか伺う。

#### (2) 交通安全施設整備について

- ① 西側大通り線への自転車ナビマーク等の設置について伺う。
- ② 上日出谷南3丁目交差点へ歩車分離式信号機の設置について伺う。
- ③ 市道3549号線と市道75-3号線の交差点へ横断歩道の設置について伺う。

### 3. 命と暮らしを守る治水対策について

#### (1) 治水整備と環境保全について

- ① 江川下流域の環境保全による河川整備計画の変更内容について伺う。
- ② 下日出谷西調整池の再掘削工事予定について伺う。

#### (2) 江川調節池整備事業について

- ① 現状の整備内容と進捗状況及び完成時期について伺う。
- ② 市道63-1号線及び市道3178号線の拡幅整備予定について伺う。

## 9番 近本 あんな

1. 「いじめ」を人権問題として捉える
  - (1) いじめ問題に対応するとき、教育委員会や現場が重視している点はなにか。
  
2. PDCAサイクルを実行し、改善・効率化が図られる行政へ
  - (1) 令和8年から新しく稼働した、行財政改革推進本部の設置目的、構成員、具体的な手法を伺う（資料として、設置要綱のご用意をお願いします）。
  - (2) 事業のPDCAサイクルは、誰が・どういった基準で・どのようなツールを使い、行っているのか伺う。
  
3. 属性（年齢・障がいの有無）によらない、実情に応じた移動支援のあり方
  - (1) 市が認識している「移動の課題」と、支援の対象者となる「移動困難者」の定義を伺う。
  - (2) 手帳を持っていない人や、一時的に事故等で車の運転ができなくなった人への移動支援は、どんなものがあるのか。

## 2番 渡邊 広美

### 1. 「幸齢社会」の実現に向けた取組について

#### (1) 高齢者就労支援について

- ① シルバー人材センターの年齢別登録数、現況について伺います。
- ② 地域支え合いの仕組事業の年齢別登録数、現況について伺います。

#### (2) 有償ボランティアマッチングサービスを通じて地域で支える介護の実現について

- ① 介護施設における資格を要しない業務（配膳、話し相手、掃除、レクリエーション補助等）の担い手確保の必要性について伺います。
- ② 有償ボランティアマッチングサービス「スケッター」の導入の方向性について伺います。

#### (3) eスポーツを活用したフレイル予防について

- ① 高齢者のフレイル予防に成果を上げ注目されているeスポーツについて伺います。
- ② eスポーツによる身体機能や認知機能の改善効果について伺います。
- ③ 高齢者福祉施設へのeスポーツ導入の方向性について伺います。
- ④ 多世代交流としてのeスポーツ活用について伺います。

### 2. 認知症高齢者と家族を孤立させないセーフティーネットの構築について

#### (1) 認知症対策の充実と認知症賠償責任保険制度の導入について

- ① 高齢者見守りステッカー、徘徊高齢者等家族支援サービスの現況と課題について伺います。
- ② 認知症高齢者一人歩きの現状と事故のリスクについて伺います。
- ③ 認知症賠償責任保険制度の導入について伺います。

### 3. 脱炭素社会に向けた取組について

#### (1) 家庭から出る廃食油の再利用と生ごみの減量化について

- ① 廃食油再利用の必要性について伺います。
- ② 近隣市の廃食油回収の状況について伺います。
- ③ 本市における廃食油再利用の方向性について伺います。
- ④ 生ごみ処理容器補助金の現況について伺います。

#### (2) 熱中症対策と脱炭素社会に向けた取組について

- ① 公共施設・道の駅・駅周辺における給水スポットの設置状況につ

いて伺います。

- ② ゼロカーボンの取組において、給水スポット整備の効果について伺います。

(3) 地域循環型リユース促進について

- ① 粗大ごみで持ち込まれたリユース品の対応について伺います。
- ② 不要品のリユース「おいくら」と連携協定した経緯について改めて伺います。
- ③ 不要品のリユース「おいくら」について、メリット、デメリットを伺います。

(4) 中東情勢の影響によるごみ袋対策について

- ① 中東情勢による指定ごみ袋購入の市民及び事業者への影響について伺います。
- ② 医療施設、介護施設等及び保育施設など指定ごみ袋を数多く必要とする事業者に対する対応について伺います。
- ③ 今後、指定ごみ袋不足による市民不安への周知について伺います。

# 1 番 仲又 清美

## 1. 教育行政について

### (1) 小学校の登校時間について

桶川東小学校では、今年度から、登校時間が5分遅くなり、ある保護者からは、子どもより先に出勤することになった、また、通学の見守りの方からは、5分とは言え、短縮した事で、通勤通学の自転車利用者の流れや、信号待ちの滞留など、環境の変化があったと意見を伺った。

そこで、東小学校のみならず、市内小学校の登校時間についての現況と課題について伺う。（※各小学校の登校時間が分かる資料希望）

- ① 東小学校において、今年度から登校時間が5分遅くなった経緯について伺う。
- ② 他の小学校の現況について伺う。
- ③ 朝の小1ギャップに関し、本市の現況と課題について伺う。

### (2) 小・中学校における「平和教育」について

国会において、憲法改正議論が高まる中、日本国憲法の三原則、「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」について、昨今、改めて、注視されている。

そこで、「平和」に、焦点をあてた教育の方向性について伺う。

- ① 小・中学校の「平和教育」について、現況を伺う。
- ② 「平和教育」の観点から、小・中学校の「桶川飛行学校平和祈念館」との連携について伺う。
- ③ 中学校の修学旅行先に、京都、奈良から「広島平和記念資料館」がある広島地域を選ぶ中学校が増えつつあるが、県内の現況と、その背景について伺う。

### (3) 食物アレルギー疾患のある児童・生徒の給食の現況について

近年、卵、乳、小麦、大豆等のほか、様々な食物アレルギーの品目が増え、教育現場においては、命に関わることから、個々における注意が必要になり、現場での対応が大変になっている。

そこで、本市の現況と、食物アレルギー疾患の児童・生徒に配慮した給食の方向性について伺う。

- ① 食物アレルギー疾患のある児童・生徒の現況について伺う。（※各小・中学校、学年別の人数と割合、及び、食物アレルギーの品目の現況が分かる資料希望）

- ② 献立によって、給食を欠食、一部欠食する際の保護者との連携など、教育現場の対応について伺う。
- ③ 本市は、個々に合わせたアレルギー給食の対応はないが、献立で、工夫をされているようだ。その具体的な内容について伺う。
- ④ 給食に関するアレルギー対応食の先進事例と本市の方向性について伺う。

⑤ アナフィラキシーの発症の現況と対応について伺う。

(4) 子どもの読書活動の推進について

2001年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、毎年4月23日を、「子ども読書の日」と定められた。昨今、スマートフォンの所持率や利用時間の増加で、読書が好きな児童・生徒が減少傾向にあると危惧している。

そこで、本市の子どもの読書活動の推進について伺う。

- ① 「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定後の本市の取組について伺う。
- ② 障害児、及び、読書が困難な子どもへの読書活動支援について伺う。
- ③ 市内図書館の「りんごの棚」の設置状況と今後の方向性について伺う。

2. 「RSウイルスワクチン」について

(1) 子どもの命を守る「RSウイルスワクチン接種」の現況について

RSウイルス感染症は、2歳までにはほぼ全員が感染すると言われ、乳幼児の初感染では、重症化リスクが高く、2歳未満の乳幼児では、年間約10万例がRSウイルス感染症と診断され、その4分の1の例が、入院を必要とされ、中でも、生後6か月未満の乳児が、入院例の40%を占めているようだ。そこで、国は、妊婦が出産前に、「RSウイルスワクチン接種」することで、生後6か月以内のRSウイルス感染症に対する有効性が約70%を示したことから、2024年1月に「国内初のRSウイルス母子免疫ワクチン」の製造販売が承認され、本年4月1日より、努力義務とし、定期接種となった。

そこで、本市の「RSウイルスワクチン接種」の現況と方向性について伺う。

- ① 本年4月から「RSウイルス母子免疫ワクチン」が、定期接種となったが、その概要について伺う。

- ② 定期接種が始まって間もないが、対象の妊婦さんが、安全で、安心して接種ができるようにするための本市の対応について、伺う。
- ③ 保育施設等の感染予防対策について伺う。

(2) 高齢者の命を守る「高齢者RSウイルスワクチン接種」の現況について

RS感染症は、乳児と並んで、高齢者、及び、慢性呼吸器疾患・慢性心疾患などの基礎疾患を有する成人において、国内外でインフルエンザと同程度の重症化リスク（入院率や死亡率）があることが報告されている。現在、複数の「高齢者RSウイルスワクチン」が承認されており、重症化予防の有効な手段として、任意接種が推奨され、その効果に期待が寄せられている。

そこで、本市の「高齢者RSウイルスワクチン」の接種の方向性について伺う。

- ① 高齢者がRS感染症に、罹患した場合のリスクについて、本市の見解を伺う。
- ② 「高齢者肺炎球菌」や、「帯状疱疹ワクチン」同様に、本市の公費助成の方向性について伺う。

## 13番 浦田 充

### 1. 道路のバリアフリー化について

#### (1) べにばな陸橋について

- ① スロープやエレベーターの設置がない理由を伺う。
- ② バリアフリー化の予定がないのはなぜか。
- ③ 現状で、スロープ設置のためのスペースはあるか。
- ④ 本市として、バリアフリー化の必要性をどのように認識しているのか。
  - ア. 市民からバリアフリー化を求める声とそれに対する市の取組を伺う。
  - イ. 現状でどのような人が困っているか。
  - ウ. 車椅子で踏切を横断する場合に、どのような危険があるか。
  - エ. 市役所へのアクセス改善のためにもバリアフリー化が必要ではないか。

#### (2) 音響式信号機について

- ① 市内の設置状況を伺う。(資料配付)
- ② 整備に向けた取組と今後の整備方針を伺う。

### 2. 桶川駅の安全対策について

#### (1) ホームドア設置について

- ① 桶川駅における過去5年の転落事故、人身事故の件数を伺う。
- ② 過去5年の設置を促す取組を伺う。
- ③ 埼玉県内のホームドア設置駅の設置に至った経緯や国や自治体の補助金の活用実績を伺う。
- ④ これまで、車両のドアの位置が異なることが設置の障害である旨の答弁があつたが、ドアの位置が異なっても設置可能なホームドアは存在する。高崎線へのホームドア設置の課題を伺う。

#### (2) ホームの段差、隙間の解消について

- ① 桶川駅において、ホームと電車の隙間は最大何センチ生じるか。
- ② 隙間を減らす対策はないのか伺う。
- ③ 段差を概ね3センチ以下にするために都市部の駅の一部の乗降箇所を整備されているホーム縁端部へのくし状ゴム設置ができないか伺う。

### 3. 熱中症対策について

#### (1) 駅東口駅前広場の高温対策について

- ① 暑さを和らげるための装置の設置や舗装の工夫などを考えているか伺う。
- ② 暑さをしのげる空間やスペースの設置予定はあるのか伺う。

#### (2) 停電対策について

- ① 過去3年の市内の停電発生日時、気温、発生箇所、対象世帯数とそれぞれの最長停電時間を伺う。(資料配付)
- ② 障害者など自宅からすばやく移動することが困難な方が、停電時にもエアコン等の使用を継続できるように、蓄電池の購入助成や貸し出しができないか伺う。

#### (3) エアコンの使用について

- ① 過去5年の本市における熱中症で搬送された方のうち原因がエアコン不使用だと思われる件数はどの程度あったか。
- ② 暑さや体調変化を感じにくい方々に、エアコン使用を促す取組や見回りなどによる体調の確認ができないか伺う。

## 1 1 番 糸井 政樹

### 1. 新卒者（若い世代）の住宅支援と移住促進策について

就職が決まった新卒者は毎年首都圏を中心に、夢と希望と少しの不安を持ちながら住む場所を探しています。昨今の物価高騰により家賃も上昇し、都心での部屋探しは難しいものとなっているようです。リモートワークも増加し、首都圏通勤圏内の当市にもチャンスが出て来たようです。若い人たちを中心に桶川に人を呼び込み、将来の定住促進に向けた施策について何点か質問をします。

- (1) 桶川市の人口の推移はここ数年微減との認識でよろしいのか、また国内の人口減少が進む中でも微減で済んでいる要因はどのようなものであるのか見解を伺います。
- (2) 当市に移住されている若年層や一人暮らしの方々の推移を分かる範囲で教えてください。
- (3) 当市における賃貸住宅の現況はどのようになっていますか。
- (4) 現在、若者が当市に住んで良かったと思える施設や施策はどのようなものがあると考えますか。
- (5) まずは勤務先の福利厚生、国の住宅支援などがありますが、当市でも移住支援金や空き家利用の住宅支援、家賃補助など、若い世代を呼び込む施策の検討について見解を伺います。

### 2. 機能別消防団員の創設について

私は度々、大規模災害の危険性や対策についての質問をしておりますが、本年も三陸沖地震や各地での山林火災が発生してしまいました。これからのシーズンは台風や線状降水帯の発生による豪雨災害や、近年危惧されている東南海地震や首都圏直下型地震にも注意を払わなければなりません。

- (1) 比較的地盤が強固で山や崖が無く、津波の遡上も心配が無い当市ですが、大規模自然災害が発生した際、現状の防災態勢について、市の見解を伺います。
- (2) 桶川市消防団は定員184名、令和8年度当初の人員は4名減の180名となっております。周辺自治体でも創設されている機能別消防団員や消防団OB機能別団員についての市の見解を伺います。

### 3. 政策におけるスクラップアンドビルドについて

これからの人口減少のなか、厳しい財政と限られた職員で行政を進めて行

かなければなりません。「スクラップなくしてビルドなし」とよく言われますが、特定の予算で最大の効果を得るには「行政事業の何をやめるのか」の決断は必要不可欠であると考えています。行政改革と事業見直しについて何点か伺います。

- (1) ここ数年で事業廃止や縮小になったものはあるのか、また本年も行政組織の改正をしましたが、効率化に向け職員配置の見直しは行われましたか。
- (2) 事業を廃止する場合、明確な判断基準はありますか。それは市長の責任と判断のもとで行われることであるのか伺います。
- (3) 銀行の窓口は15時に閉まります。その後の事務処理も大変であると推測しますが、市の開庁時間の変更についてはどのように考えるか。証明書の発行をコンビニ交付へ誘導することや、更なるDX推進により働き方改革や時間外勤務の減少に繋がるものとするのが市の見解を伺います。

## 7番 榊 萌美

### 1. 庁内DXによる業務効率化と窓口サービスの見直しについて

#### (1) DX推進事業の目的と庁内活用について

- ① 令和8年度当初予算に計上されたDX推進事業の目的と期待する効果について伺います。
- ② 生成AI、チャットツール、デジタル地図について、それぞれどのような業務で活用することを想定しているか伺います。
- ③ 生成AI等の活用を、業務効率化だけでなく市民サービス向上にどのようにつなげる考えか伺います。

#### (2) 来庁しなくても済む行政手続の拡充について

- ① 現在、オンライン申請、コンビニ交付等により、来庁せずに手続できるものは、どのようなものがあるか伺います。
- ② 今後オンライン化を進めていく上で、どのような課題があると捉えているか伺います。

#### (3) 窓口業務の効率化について

- ① 多くの方々が来庁する市民課窓口における混雑時間帯、手続別件数の状況について伺います。
- ② 書かない窓口、来庁予約、事前入力等により、窓口対応時間や待ち時間を短縮する考えについて伺います。
- ③ オンライン申請等の拡充により、市民の利便性を確保した上で、将来的に開庁時間を見直す考えについて伺います。

### 2. 職員の人材育成と人事評価制度について

#### (1) 人材育成基本方針の改定について

- ① 令和9年度改定に向けた人材育成基本方針の見直し状況について伺います。
- ② 全職員アンケートやプロジェクトチームはどのように行われているか伺います。
- ③ 現行方針における達成項目、継続中の項目及び課題をどのように整理しているか伺います。

#### (2) 人材確保・定着・職場環境の整備について

- ① 職員採用の応募状況、自己都合退職の状況について、市の認識を伺います。
- ② 政策形成能力やDX対応力など、今後求められる職員能力の育成

について、市の考えを伺います。

- ③ 次期人材育成基本方針において、人材育成だけでなく、人材確保及び職場環境の整備をどのように位置づける考えか伺います。

(3) 人事評価制度と人材育成の連動について

- ① 人事評価結果を給与反映だけでなく、研修、配置、キャリア形成及び人材育成にどのように反映していくのか伺います。
- ② 人事評価結果の給与反映について、実施に向けた整理状況と、今後のスケジュールについて伺います。
- ③ 評価者研修、面談スキル研修及び相談体制をどのように検討されたのか伺います。

3. 南小跡地等施設計画と中心市街地のにぎわい創出について

(1) 南小跡地等施設計画の位置づけと市内連携について

- ① 南小跡地等施設計画の目的と、今後の事業化に向けた位置づけについて伺います。
- ② 令和8年度以降の民間事業者への市場調査、事業化方式の選定、事業者選定等の今後の進め方について伺います。
- ③ 財政、産業振興、商店街連携、防災、子育て支援など市内横断でどのように連携して進めるのか伺います。

(2) 導入機能と整備パターンの考え方について

- ① 南小跡地及び周辺市有地において、導入が期待される機能と規模をどのように整理したのか伺います。
- ② 南小跡地について、建物大・広場小、建物中・広場中、建物小・広場大の整備パターンが示されていますが、今後どのような基準で比較検討していくのか伺います。
- ③ 広場機能、防災機能、子育て支援機能、商業・医療・宿泊機能などをどのように両立させていく考えか伺います。

(3) 市民参加・商店街連携について

- ① 市民参加型ワークショップや地元事業者アンケートの意見を、今後の事業化方式や施設機能の選定にどのように反映していくのか伺います。
- ② 周辺商店街との連携や、駅前から中山道を含めた回遊性向上について、どのように検討していくのか伺います。

## 5番 北村 あやこ

### 1. 東口のあるべき姿を明確に

#### (1) 南小跡地（ことぶき広場）の現状

① 駐輪場としての実態把握を伺い、無料開放することの判断と責任を明確にすべき。

#### (2) 南小跡地等利活用調査（2024年3月）について

① アンケートやワークショップの回答率は市民の声をどの程度反映しているのか。

② コンサルの成果品として十分か。53ページ以降の経済効果の把握方法について、資料を基に説明を求める。

#### (3) 南小跡地施設計画（2026年3月）について

① ワークショップは市民の意見として、どうまとめられているのか、忝意性はないのか。

② コンサルを使わずに、職員が事業実現性確認（サウンディング調査）はなぜできないのか。

### 2. 生活支援体制は十分か

#### (1) 子ども食堂の取組

① 子どもの居場所として、どのように機能しているのか、過去2年間の参加数と、年代別の実績とともに資料にて説明を求める。

② 一人暮らしの高齢者や障がいのある方に対する取組を求める。

#### (2) フードパントリー

① 市が寄付を募り、民間が配布している事業の責任の所在はどのようになっているのか。

② 寄付および配布（回数、年代別人数、配布個数）の状況を過去3年間の資料にて報告いただきたい。（写真の添付も）

③ 寄付者への報告はなぜ行わないのか。

### 3. 東中いじめ事件の教訓は

#### (1) 桶中事故調査

① 報告書はなぜ遅れているのか、時系列の資料と説明を求める。

#### (2) 検証委員会

① 事件発生から6年以上も経過し、遅きに失した検証委員会だが、第三者が客観的に調査・検討するのが通常だが、なぜできないのか、

その体制と経過の説明を求める。

- ② 今後どのように生かしていくつもりなのか。

### 3番 渡辺 まや

#### 1. おむつの無償化について

##### (1) 桶川市子育て世帯応援ギフト事業について

- ① 本事業の目的を伺います。
- ② 令和5年度から令和8年度までの各健診ごとの対象者、配付実績、事業費用を伺う。
- ③ 令和5年度から令和8年度までの利用実績（世帯数、利用店舗）を伺う。
- ④ 本事業の評価を市としてどのように認識しているのか伺います。

##### (2) 桶川市子育て世帯応援ギフト事業アンケート調査について

- ① 各年度の回収率を伺う。
- ② 各年度の項目ごとの調査結果を伺う。
- ③ アンケート調査の内容は、どのように活用しているのか伺う。
- ④ アンケート調査の内容は、事業委託先にも共有されるのか伺う。

##### (3) おむつの定期便について

- ① 過去の議事録から、本市でおむつの定期便を導入する際の試算額は2,600万円とのことでしたが、内訳を伺う。
- ② 第3子以降を対象に導入した場合の試算額を伺う。

#### 2. デジタル教科書の方向性について

##### (1) 現況と課題について

- ① 桶川市内小中学校において、現在デジタル教材・ICT教材を活用している教科と対象学年を伺います。
- ② 児童生徒が「問題なくデジタル教材を使用できている」と判断する基準及び教員が「問題なく活用できている」と判断する基準を伺います。
- ③ 児童生徒、保護者、教員それぞれの、デジタル教材・ICT教材に対する賛否はどの程度把握しているか伺います。
- ④ 「紙の教科書」の主なメリット・デメリットを、市の認識としてお答えください。特に、重量や情報更新の遅れの観点についてどのように認識しているか伺います。
- ⑤ 「デジタル教科書」の主なメリット・デメリットを、市の認識としてお答えください。特に、視力低下、思考力・集中力への影響についてどのように認識しているか伺います。

- ⑥ タブレット端末のフィルタリング設定、付属機器や児童生徒の使用時間の管理などの保護者負担、長期休業中の自宅への持ち帰りについて現状の課題と対応策を伺います。
- (2) 国の法改正と桶川市の方向性について
- ① デジタル教科書が正式な「教科書」として位置づけられることについて、市の考えを伺います。
  - ② 自治体は「紙のみ」「デジタル・ハイブリッド」「デジタル中心」のいずれかを選択できるとの報道もありますが、桶川市としての基本的な方向性を伺います。
  - ③ 法案が可決された場合に、「デジタル教科書」に関して、健康面（視力・姿勢）、思考力・集中力、家庭での管理負担などを考慮した上で、保護者・児童生徒への十分な説明会の開催と周知方法について、計画を伺います。